

豚肉情勢

2月4日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項目		内容		備考																																																											
供給	1.国産	<p>○ 令和3年12月度の全国の肉豚出荷頭数は1,510千頭(前年比99.4%)となった。12月の地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道101.8%、東北100.2%、関東97.9%、北陸甲信越100.4%、東海103.5%、近畿105.5%、中四国98.9%、九州・沖縄98.7%のとおりである。</p> <p>○ 令和4年1月の全国と畜頭数は速報値で1,351千頭(1/31まで集計)で、前年同月比95.3%となっている。稼働日数は昨年と同一ながら、1日当たりの平均と畜頭数は71,079頭(前年実績:74,620頭/日、前年差△3,541頭/日)と減少した。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和4年1月24日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和4年2月1,309千頭(前年同月比98%)、3月1,444千頭(同95%)、4月1,386千頭(同96%)、5月1,354千頭(同103%)、6月1,301千頭(同97%)で今後5か月間合計頭数で前年比98.0%と前年をわずかに下回ると予測となっている。</p>		<p>国内生産量の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">国内出荷頭数</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">出荷予測</th> </tr> <tr> <th>千頭</th> <th>前年比</th> <th>頭数</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>16,338</td> <td>98.3</td> <td>R4年 1月</td> <td>1,398</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>16,429</td> <td>100.6</td> <td>R4年 2月</td> <td>1,309</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>16,320</td> <td>99.3</td> <td>R4年 3月</td> <td>1,444</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>16,686</td> <td>102.2</td> <td>R4年 4月</td> <td>1,386</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>1,389</td> <td>103.1</td> <td>R4年 5月</td> <td>1,354</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>1,417</td> <td>95.7</td> <td>R4年 6月</td> <td>1,301</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>1,504</td> <td>103.5</td> <td colspan="3">※令和3年12月23日更新</td> </tr> <tr> <td>R3年 12月</td> <td>1,510</td> <td>99.4</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>		暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測		千頭	前年比	頭数	前年比	H29年	16,338	98.3	R4年 1月	1,398	99	H30年	16,429	100.6	R4年 2月	1,309	98	R1年	16,320	99.3	R4年 3月	1,444	95	R2年	16,686	102.2	R4年 4月	1,386	96	R3年 9月	1,389	103.1	R4年 5月	1,354	103	R3年 10月	1,417	95.7	R4年 6月	1,301	97	R3年 11月	1,504	103.5	※令和3年12月23日更新			R3年 12月	1,510	99.4			
	暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測																																																										
千頭		前年比	頭数		前年比																																																										
H29年	16,338	98.3	R4年 1月	1,398	99																																																										
H30年	16,429	100.6	R4年 2月	1,309	98																																																										
R1年	16,320	99.3	R4年 3月	1,444	95																																																										
R2年	16,686	102.2	R4年 4月	1,386	96																																																										
R3年 9月	1,389	103.1	R4年 5月	1,354	103																																																										
R3年 10月	1,417	95.7	R4年 6月	1,301	97																																																										
R3年 11月	1,504	103.5	※令和3年12月23日更新																																																												
R3年 12月	1,510	99.4																																																													
2.輸入	<p>○ 令和3年12月の輸入通関実績は豚肉全体で74.5千ト(前年同月比104.2%、前月比94.9%)となった。内訳は、チルドが30.6千ト(前年同月比83.1%、前月比89.7%)、フローズンは43.9千ト(同126.7%、同99.0%)となった。チルドは現地価格の高騰の影響で前年を下回ったが、フローズンは中国の買い付けが弱まった欧州産の増加により前年を上回った。主な国別では、チルドは米国16.5千ト(前年同月比93.1%)、カナダ12.1千ト(同66.8%)、メキシコ2.1千ト(同186.3%)となり、フローズンはスペイン13.0千ト(同205.1%)、メキシコ8.5千ト(同118.1%)、デンマーク6.1千ト(同92.3%)、カナダ2.6千ト(同85.5%)、米国2.7千ト(同77.9%)と、チルド・フローズンともに米国の減少、チルドではメキシコ、フローズンではスペインの増加が目立つ。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が1月27日に公表した豚肉の需給予測では、1月の輸入量はカナダの洪水の影響で入船が遅れた前月分の繰越し分の入荷のため、前年をわずかに上回るが、フローズンは中国の買い付けが弱まったために値下がりが欧州産の増加のため、前年を大幅に上回り、合計でも前年をかなり大きく上回る輸入量になるものと見込んでいる。また、2月の輸入量は、チルドは前年がコロナウイルス感染症の広がりによる北米からの入荷量が大きく減少したため前年をやや上回り、フローズンは欧州産の入荷量増加のため前年をかなり大きく上回り、合計でもかなりの程度上回るものと予測する。このため3か月平均では、チルドは前年をやや下回り、フローズンは前年を大幅に上回ることで、輸入量全体では前年をやや上回るというフローズンが牽引役となって輸入数量が増加する傾向となっている。</p>		<p>輸入量の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">輸入数量</th> <th colspan="2">チルド数量</th> </tr> <tr> <th>ト</th> <th>前年比</th> <th>ト</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>932,048</td> <td>108.2</td> <td>398,847</td> <td>112.2</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>924,971</td> <td>99.2</td> <td>406,752</td> <td>102.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>958,963</td> <td>103.7</td> <td>407,360</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>891,807</td> <td>93.0</td> <td>416,334</td> <td>102.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>74,295</td> <td>113.5</td> <td>35,466</td> <td>108.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>77,929</td> <td>107.5</td> <td>33,556</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>78,525</td> <td>111.3</td> <td>34,153</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>R3年 12月</td> <td>74,543</td> <td>104.2</td> <td>30,629</td> <td>83.1</td> </tr> </tbody> </table>		暦年	輸入数量		チルド数量		ト	前年比	ト	前年比	H29年	932,048	108.2	398,847	112.2	H30年	924,971	99.2	406,752	102.0	R1年	958,963	103.7	407,360	100.1	R2年	891,807	93.0	416,334	102.2	R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8	R3年 10月	77,929	107.5	33,556	95.6	R3年 11月	78,525	111.3	34,153	88.6	R3年 12月	74,543	104.2	30,629	83.1										
暦年	輸入数量		チルド数量																																																												
	ト	前年比	ト	前年比																																																											
H29年	932,048	108.2	398,847	112.2																																																											
H30年	924,971	99.2	406,752	102.0																																																											
R1年	958,963	103.7	407,360	100.1																																																											
R2年	891,807	93.0	416,334	102.2																																																											
R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8																																																											
R3年 10月	77,929	107.5	33,556	95.6																																																											
R3年 11月	78,525	111.3	34,153	88.6																																																											
R3年 12月	74,543	104.2	30,629	83.1																																																											
需要	1.家計消費	<p>○ 総務省発表の令和3年11月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,841g(前年同月95.9%)、支出金額が2,670円(同97.2%)となり、購入量・金額ともに前年を下回った。(※前々年度同月比:購入量 103.2%、金額 106.1%)</p>		<p>財務省:通関実績</p>																																																											
	2.小売動向 12月概況	<p>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の12月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,338億円(前年同月比97.4%、既存店ベース96.0%)と前年同月を下回った。年末商戦での和牛等の高単価商品や鳥インフルエンザの影響が少なく出荷量増が販売量増に反映された鶏肉の好調が報告されている。</p> <p>○ 日本チェーンストア協会が公表した12月販売概況によると、畜産品の売上は1,066.2億円(店舗調整後で前年同月比98.5%)となり、前年をわずかに下回った。前月に続き鶏卵は好調ながら、牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージ類は荷動きは総じて前年に比べて鈍化したとの報告内容となっている。</p> <p>○ 1月の荷動きは、冬本番の寒さ厳しい気候が続く、鍋需要は堅調な推移を続けたため、国産物・冷蔵はバラが好調、続いてカテゴリーも良好な荷動きとなった。モモも波はあるものの動きを見せる中、挽き材は低迷し、年末・年始は好調のロースも上旬から引き合いが失速し低調であった。国産物・冷凍品は、前月に続き、荷余り感がない締った需給が続き、バラを中心に堅調な荷動となった。一方、輸入品・チルドは量販店向けとしてベリーの引合が強いものの、他の部位は特筆すべき荷動きはなく、加えて入船遅れの発生により古いポジションの商品が散見されるなど乱れた状態で、フローズンは緊急事態宣言解除で徐々に需要を盛り返してきた外食需要の失速が大きく影響して、荷動きは鈍化に転じることとなった。</p>		<p>家計消費量 (ト, 円, %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="4">全国1世帯当たり</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>金額</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>20,785</td> <td>101.7</td> <td>30,025</td> <td>101.8</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>21,514</td> <td>103.5</td> <td>30,591</td> <td>101.9</td> </tr> <tr> <td>H31年</td> <td>21,178</td> <td>98.4</td> <td>29,637</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>22,973</td> <td>108.5</td> <td>32,861</td> <td>110.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>1,889</td> <td>106.8</td> <td>2,639</td> <td>101.3</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>1,955</td> <td>102.1</td> <td>2,690</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>1,841</td> <td>95.9</td> <td>2,670</td> <td>97.2</td> </tr> </tbody> </table>		暦年	全国1世帯当たり				数量	前年比	金額	前年比	H29年	20,785	101.7	30,025	101.8	H30年	21,514	103.5	30,591	101.9	H31年	21,178	98.4	29,637	96.9	R2年	22,973	108.5	32,861	110.9	R3年 9月	1,889	106.8	2,639	101.3	R3年 10月	1,955	102.1	2,690	97.8	R3年 11月	1,841	95.9	2,670	97.2														
暦年	全国1世帯当たり																																																														
	数量	前年比	金額	前年比																																																											
H29年	20,785	101.7	30,025	101.8																																																											
H30年	21,514	103.5	30,591	101.9																																																											
H31年	21,178	98.4	29,637	96.9																																																											
R2年	22,973	108.5	32,861	110.9																																																											
R3年 9月	1,889	106.8	2,639	101.3																																																											
R3年 10月	1,955	102.1	2,690	97.8																																																											
R3年 11月	1,841	95.9	2,670	97.2																																																											
3.加工肉仕向量	<p>○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の令和3年11月の豚肉加工品仕向量は36.0千ト(前年同月比107.4%)と、前年をかなりの程度上回った。内訳は、国内物7.5千ト(前年同月比106.2%)・輸入物25.6千ト(同107.7%)で、国内物・輸入物ともに前年をかなりの程度上回った。なお、上記仕向量とは別枠のシーズドポークについても、11.1千ト(前年同月比107.8%)と前年をかなりの程度上回ることで上回っている。</p>		<p>加工品仕向量</p>																																																												
在庫	<p>○ (独)農畜産業振興機構が1月27日に公表した豚肉の需給予測によると令和3年12月末の推定期末在庫量は168.6千ト(前年比89.5%、前月比95.6%)となり、前年をかなりの程度下回った。内訳は、輸入品の在庫が145.7千ト(前年比86.8%、前月比94.1%)、国産品が22.9千ト(前年比112.3%、前月比106.0%)となり、輸入品は前年実績を下回り、国産品は前年実績を上回った。同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた今後の期末在庫の推移は、1月が164.6千ト(同90.2%)、2月は161.0千ト(同87.4%)と、いずれも前年を下回って推移するものと予測している。</p>		<p>市況の推移(東京市場)※税込み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">豚枝肉「上物」</th> </tr> <tr> <th>千ト</th> <th>前年比</th> <th>円/kg</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>376.6</td> <td>101.6</td> <td>H29年</td> <td>569</td> <td>108.6</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>376.6</td> <td>100.0</td> <td>H30年</td> <td>518</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>372.1</td> <td>98.8</td> <td>R1年</td> <td>524</td> <td>101.2</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>376.7</td> <td>101.2</td> <td>R2年</td> <td>561</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>30.2</td> <td>99.8</td> <td>R3年10月</td> <td>528</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>34.6</td> <td>114.8</td> <td>R3年11月</td> <td>493</td> <td>92.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>31.6</td> <td>97.2</td> <td>R3年12月</td> <td>578</td> <td>108.0</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>36.0</td> <td>107.4</td> <td>R4年1月速報値</td> <td>505</td> <td>101.5</td> </tr> </tbody> </table>		暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」		千ト	前年比	円/kg	前年比	H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6	H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0	R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2	R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9	R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月	528	98.1	R3年 9月	34.6	114.8	R3年11月	493	92.8	R3年 10月	31.6	97.2	R3年12月	578	108.0	R3年 11月	36.0	107.4	R4年1月速報値	505	101.5	
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」																																																											
	千ト	前年比		円/kg	前年比																																																										
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6																																																										
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0																																																										
R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2																																																										
R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9																																																										
R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月	528	98.1																																																										
R3年 9月	34.6	114.8	R3年11月	493	92.8																																																										
R3年 10月	31.6	97.2	R3年12月	578	108.0																																																										
R3年 11月	36.0	107.4	R4年1月速報値	505	101.5																																																										
枝肉相場	1.R4年1月速報値	<p>○ 令和4年1月の東京食肉市場枝肉相場は速報値(1/31時点)で 505円/kg(前年比101.5%)と前年を上回った。上旬は東日本を中心とした豪雪等の悪天候等で出荷頭数不安定な中で、年始の補充買いや連休の手当てで買いもあり、堅調な相場が続いた。しかし中旬、新型コロナウイルスの感染者の増加で外食需要が弱まるなか、弱含みな下落傾向の相場展開となったが、下旬は全国の出荷頭数が7万頭をしたまわり、6万頭台に減少するなかで市況は強含な推移となった。このため東京「上」の月間平均で505円(速報値)となり、前年をわずかに上回る(前年比101.5%)とともに、2か月連続で500円を超える相場となった。</p>		<p>2.予測 R4年2月</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和4年1月24日付肉豚生産出荷予測の令和4年2月出荷予測頭数は1,309千頭(前年同月比98%)と前年をわずかに下回る出荷頭数で、対過去5年平均でも99%と平年を下回る出荷予測となっている。2月は、新型コロナウイルス感染者の増加により、まん延防止等重点措置の実施が続くなか、不透明な需要動向が続くものの、気温低下による増体不良のため出荷頭数不足と輸入品チルドの不安定な供給状態により、弱含な保合い相場となることが予測される。なお、出荷頭数や新型コロナウイルスの影響に伴う行政対応等による相場への影響には引き続き注視が必要である。</p> <p><相場予想: 東京市場、税込み></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年12月実績</th> <th>R4年1月速報値</th> <th>R4年2月予測</th> <th>R4年3月予測</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【上物】(前年比)</td> <td>578円(108.0%)</td> <td>505円(101.5%)</td> <td>498円(100%)</td> <td>491円(102%)</td> </tr> </tbody> </table>			R3年12月実績	R4年1月速報値	R4年2月予測	R4年3月予測	【上物】(前年比)	578円(108.0%)	505円(101.5%)	498円(100%)	491円(102%)																																																
	R3年12月実績	R4年1月速報値	R4年2月予測	R4年3月予測																																																											
【上物】(前年比)	578円(108.0%)	505円(101.5%)	498円(100%)	491円(102%)																																																											